社会福祉法人
日本キングス・ガーデン

「常総ふれあいの杜」広報誌No.34　2017年冬号（季刊）

ふれあい通信

常総広域障害者支援施設
『常総ふれあいの杜』
常総市大生郷町1880番地
Tel0297−27−5016
Fax0297−27−5045
www.kings-garden.or.jp
発行責任者藤原裕也
編集員広報委員会

新しい一歩

施設長　藤原裕也

　先日の事です。けやきユニットでの食事時間が、少し遅れたとの報告がありました。でも職員がリビングに戻った時、ご利用者全員が混乱もなく自分の席で待っておられた、とのことでした。申し訳なく思うと同時に確実にご利用者の共同生活への成長を感じました。

「十年一昔」という言葉がありますが、ふれあいの杜も十年という月日が経ちました。「何ができるか」ではなく、「共にいる」ことへの感謝。

　ご利用者の笑顔に励まされながら、涙あり笑いありの一日一日を味わいながら共に歩んでまいりました。

「生きる、活きる、参加する」の柱のもと、これまで様々な取り組みをしてきましたが、十年という一区切りを迎え、今年はさらにきめ細かい支援を目指して新しい一歩を踏み出します。

　何気ない一日を、ご利用者に寄り添いながら大切にしていきたいと願っています。

　これまでと同様、よろしくお願いします。

もちつき

　ぺったん、ぺったん、よいしょ、よいしょと楽しくみんなでおもちつき。美味しいおもちは出来たかな？一月十日、みんなで、多目的ホールに集まり、ボランティアの保坂さん指導の下、餅つきを行いました。餅をついている間の正月クイズもみんなどれくらい解けたかな？干支のクイズや正月遊びのクイズ、いろいろなクイズがありましたが、みんな、いっぱい正解していましたね。

　もちつきも、みんなで並んで、一人十回づつ。よいしょ、よいしょとつきました。みんなで、一生懸命ついたので美味しいおもちになりました。指導してくださった保坂さんに感謝ですね。みんなでもちつきの最後に、保坂さんへの感謝のご挨拶。笑顔あふれる、年の初めのおもちつき昼食では、デザートのおしるこになって登場。美味しかったですね。

　今年は、もちつきに願いを込めて去年以上に実りがあり、ねばり強い年にしていきたいですね。美味しく楽しい、もちつき、来年も楽しみですね。（高木求）

※ボランティアに感謝します。喫茶／須田晶子様、高橋和子様、中山小夜子様、安田春江様　音楽／山田国昭様　餅つき／保坂保義様

気がつけば元気（一年間を振り返って）

意欲、充実感、社会参加…日中活動班の各班で掲げる目標キーワードです。目標達成に向けて、今年もたくさんの楽しい「仕掛け」をプログラムに盛り込みました。責任もって日々のしごとに取り組む、より良い作品を作る、活動の場に自ら参加する……笑顔と躍動感あふれる時間を過ごしながら、気づけばそれぞれのペースで日々前進です。

（西川千枝美）

クリスマス会

牧師様のお言葉の後に、合奏や合唱。キーボードとドラムはご利用者の演奏で「きよしこの夜」等を楽しく合唱し、司会者からマイクを奪い熱唱する方も！今年の出し物は紙芝居。ただの紙芝居ではなくてクイズありです。サンタを見た事のない主人公に、右になまはげ、左にサンタの絵を見せて「こっち！あっち！」の返答が。自信満々でなまはげを指す方もいましたが（笑）その後、一番の楽しみクリスマスプレゼントとケーキの時間！保護者の方にご協力いただいた手作りケーキを頬張り笑顔。楽しいクリスマス会でした。

（日暮誠）

初めての不審者防犯訓練

警察の方の協力で、不審者想定の防犯訓練を行いました。初めての試みという事もあり不安が大きかったですが、実際に行ってみると、不審者役の職員と対応する職員の、迫真の演技に驚きました。スムーズに訓練を進める事が出来ましたが、防犯の難しさも感じました。普段の連携の大切さ、また、防犯意識を高めておく大切さも学びました。この経験を活かして、今後も取り組んで行きたいです。

（石井雅憲）

ヤクルト工場見学

今回、まつの旅行でヤクルト工場へ見学に行きました。ヤクルト工場では、ヤクルトが開発された歴史などの映像を見せてもらいました。子供から年寄りまで愛されるヤクルトの歴史には、創設者の愛が感じられました。

（横島正彦）

しいたけ収穫

自然耕房班は、皆で椎茸原木の浸水作業をするために、舟やドラム缶に原木を運びます。三日間浸水した原木をビニールハウスの中に並べ、約三週間散水をしながら椎茸が育つのを待ち、収穫した椎茸をパックに詰める作業をします。ご家族などに販売し、大変喜ばれています。これからもがんばっていきたいと思います。

（荒井七郎）

防寒ジャンパー　リニューアル

散策班で防寒着を購入しました。デザイン性と機能性にとても優れたジャンパーは、寒い時期の屋外活動に活躍してくれそうです。

男性はライムグリーン色、女性はレッドの色です。新しいのを着て、みんなで外に出掛けると気分がアガりますね。

（臼倉壮彦）

神様からのギフト

三年目、分からないことが多くあり、自分の弱さと向き合う時間でした。利用者の飾らない姿に、「ありのままでいいんだよ」と、教えてもらいました▼六年目、福祉の仕事の楽しさを味わい、受けるよりも与える幸いを教えてもらいました▼八年目、一人のご利用者を天に見送りました。命には限りがある事を知り、毎日を大切にする事を教えてもらいました▼十年目、ご利用者と過ごす時間は当たり前ではないと気づきました。みんなと過ごす日々は、神様からのギフトでした。君のそばにいさせてくれてありがとう。

（高木緑）

✍編集後記／発行が一ヶ月遅れました事をお詫び致します。気付けば旅立ちの季節です。夢と希望を抱えて大きく羽ばたいて欲しいですね。